

Let's Tag!

# 筆の都ラグビークラブ

チームワークが一番! タグラグビーで遊ぼう!

## グループ紹介



タグラグビーには、むずかしい技術はなにもいらぬ。だ円形のカラフルなボールを持って走り、味方にパス！腰に付けた2本のひらひらしたタグを、お互いに取ったり取られたりしながら、ボールを持ってコートを手を自由自在に駆け回り、相手のゴールを目指す！

タグラグビーはこんなスポーツ。タックルはもちろぬ、相手の身体に触れることはできないルールなので、小さな子どもでも安心して遊べるのが特徴。しかもちゃんとした公式スポーツなのである。

「筆の都ラグビークラブ」は、昨年3月に結成されてもうすぐ1年。全国でもチー

ムが結成されているところは少ない。現在、年中組から小学校6年生まで男女約30名の子ども達が、月に一度、ふれあい公園で練習を行い、目をいきいきと輝かせて楽しそうに走り回っている。

クラブを支えているのは、そばで見守る参加した子ども達の保護者達。夏に呉地ダムで行った練習会では、各々が弁当やさし入れを持ち寄り、交流も広がった。

なにより自由奔放な動きと柔軟な発想力を大事にするこのタグラグビー。仲間と助け合い、自ら考えて道を切り開く「スポーツスピリット」を幼少時期から身に付けるにも、タグラグビーは最適だ。

そして昨年11月に、広島総合グラウンドで行われた「サントリーカップ全国小学生タグラグビー選手権」に初出場。「初めての公式大会出場は子ども達に良い経験になりましたね。これからは子ども中心から、大人や女性チームも作ってきたい。ロコミで輪が広がるのはなにより嬉しいですね。」と代表の平井さんはこの1年間を振り返る。



次回の練習は、2/20(日曜日) ふれあい公園にて午後2時から。どなたでも参加できるのでぜひ。腰にタグを付けるので動きやすい服装で、運動靴は金具の付いてないゴム底のものを履いてきてください。春の訪れが待ち遠しい頃、親子でちょっぴり汗を流しながらかけてみませんか。公園のしだれ桜も芽吹いて待っているかもしれません。

〈連絡先〉  
「筆の都ラグビークラブ」

〈代表〉平井  
0551-62062。

### あとかぎ

小さな二人の子どもがケーキを分け合って食べる時、必ずすったもんだの揉め事が起きますね。「○○君の方が大きい」とか「私にはイチゴがない」とか。それでよく言われるのが、ケーキを分ける子と選ぶ子を別にする。そうすればお互いが納得すると。なるほどね。

町の仕組みもこれとよく似ていませんか？たぐさんある町の仕事を行政が分けて、住民が選んでいるのです。議会が選ぶところかもしれません。いやなら「いや」と言い、納得すればお互いに美味しくいただく。いやとも言わず、納得もしないままじゃ、美味しくありませんね。また、右手に自分のケーキを持って、左手で相手のケーキをつまみ食する子どもは、しこたま怒られるでしょうね。

昨年は災害の多い年でしたが、報道などを見ると、壊滅状態の町ほど、お互いが助け合っている情景が伝わります。平和にこしたことはありませんが、時々、そのありがたさを振り返るのもよいかもしれませんね。

(議会広報副委員長)



次回の定例会は、**3月8日(火曜日)**を予定しています。

議会だより題字

熊野町出身 東京在住  
**荒谷 大丘 さん**

表紙写真

第18回新春熊野  
スター駅伝大会の出場者



この議会だよりは再生紙に「エコマーク」と「シイサークル」の認定を受けた環境対応型インキを使用しています。

熊野町議会のホームページができました。熊野町のホームページからアクセスを!  
<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>